

介護ビジョン

第2特集
発想力が鍵！
戦略の転換で
機会をつかめ

第1特集
ケアのある風景
社会福祉法人湖成会
月のあかり
ポスト！
コロナの
感染対策
無理・無駄のない
徹底をめざす

ケアのある風景
社会福祉法人湖成会
月のあかり

2020 11

第1特集 ポスト・コロナの感染対策

平成15年10月15日第三種郵便物認可 令和2年10月20日発行 通巻209号 毎月1回20日発行 発行所/株式会社日本医療企画 定価=本体1,200円+税 日本医療企画



9784864399104



1923034012001

ISBN978-4-86439-910-4
C3034 ¥1200E

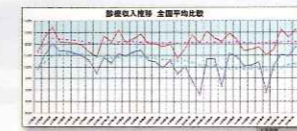
医療・福祉・介護経営でお困りの方はご相談ください



MMPGは全国の職業会計人によるわが国最大級の
医療・福祉・介護経営コンサルティンググループです

▶ 医療・福祉・介護経営に専門特化した全国組織
全国100を超える会員 職員数約4,000名
医療機関等の約15%はMMPG会員がサポート

▶ 独自のデータベースを活用した経営分析



診療報酬データ 3,000件以上
財務データ 3,000件以上
給与データ 30,000件以上

▶ 医療・福祉・介護9分野の研究室

MMPG医療・福祉・介護経営研究所

制度政策	診療所経営	介護サービス
税制会計	歯科経営	データベース
病院経営	福祉経営	公益法人

開発ツール

(例) 医療法人設立シミュレーション、診療所開業支援マニュアル

▶ コンサルスキル向上の資格認定制度

医療・福祉・介護の基礎知識から経営の実務的な内容及ぶ試験に合格した

MMPG認定 医療・福祉・介護マスターがお客様をご支援



メディカル・マネジメント・プランニング・グループ

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー4階 Tel.03-6721-9763

<https://www.mmpg.gr.jp>



case study POST COVID-19 2

特別養護老人ホームたちばなの園白糸台 介護の質を 高めることこそが 感染防止対策を行う目的 ハード面の強化により、感染防止対策を徹底する体制をとり、 新型コロナウイルス禍を乗り越えようとしている介護事業者の取り組みを紹介する

施設内の空調設備を刷新し 菌・ウイルスの不活化ねらう

昨年9月に大規模改修を終えた、社会福祉法人茶屋の園特別養護老人ホームたちばなの園白糸台。「感染防止対策や防災対策は常に考えることであり、その目的はご利用者により良いサービスを提供すること」と、同法人理事長の木所まさ子さんは、感染防止対策だからといって特別に考えなければならないことではないはずだと指摘する。

この言葉が出てくる背景には、そ

もそも施設内で感染症を発生させないような仕組みをつくることで、特別な対応をとらなくても良いようにすればいい、という同法人の姿勢がある。

この姿勢を体現しているのが、昨年までに同法人が行った大規模改修だ。内外装の補修・改善や変圧器の交換および、空調設備の更新。感染防止対策の面で大きな効果を発揮しているのが、空調設備だ。

「真菌による肺炎やノロウイルス感染症の発生、高病原性鳥インフルエンザのヒトヒト感染などを想定して、

効果的な対策は何かを検討しました」と、施設長の漆原尚幸さんは説明する。

そこで、同法人ではダイキン工業株式会社のストリーマー除菌ユニット（以下、除菌ユニット）を空調設備の室内機に装備することにした。室内機を通して除菌ユニット内に入った菌類やウイルス、花粉、化学物質などは、一定の条件下で不活化させることができ、きれいになった空気が室内に排出されるため、居住空間の感染防止対策の徹底が図れると考え、導入を決めたという。居室

や廊下、事務室などすべての空調設備に除菌ユニットは装備されている。

加えて、室内機の排出部分の近くに、脱臭・除菌の効果があるオゾン発生器を設置。これは、室内機内のカビの発生を予防することなどを目的としている。「カビは肺炎の原因にもなるため、室内機からのカビの流出をできる限り予防したいと考えました」と、漆原さん。さらに厨房にもオゾン発生器を設置し、人がいない夜間に高濃度のオゾンが発生させることで、菌類の不活化だけでなく、害虫の駆除にもつなげている。

湿度や外気の取り入れなど 細かなところから対策をとる

空間をきれいにするだけでなく、菌やウイルスをそもそも発生しにくくさせることや、施設内に入れないようにすることも感染防止対策であると考え同法人。そこで、
①冬季中に施設全体を21〜23度、相対湿度50%以上を維持できる、
②外気を取り入れ、約1時間で施設内を換気できる、
③外気を取り入れる際、5ミクロン以上の塵埃を除去し、これらと同程度の大きさのスキ花粉や菌類等を除去できる、
④熱源として、災害対策に強いプロパンガスを使用できる——
という条件をクリアする、加湿設備

を設置した。

特に湿度に関しては、宮城県医師会によるとインフルエンザが流行しにくいとされる絶対湿度11g/m以上をめざしているという。相対湿度は通常使われる湿度を表現し、空気中に含まれる水蒸気の割合を示す。一方の絶対湿度は、1mあたりに水蒸気自体の量がどれくらい含まれているかを示すものだ。

「乾燥予防の観点からは、相対湿度が50%程度あれば良いと思われるのですが、湿度が何を意味するのかを考えると、対応をとる必要があると思います」と、漆原さん。この加湿設備により花粉症の職員から症状が出ないという報告も受けており、労働環境の改善にもつながっているようだ。

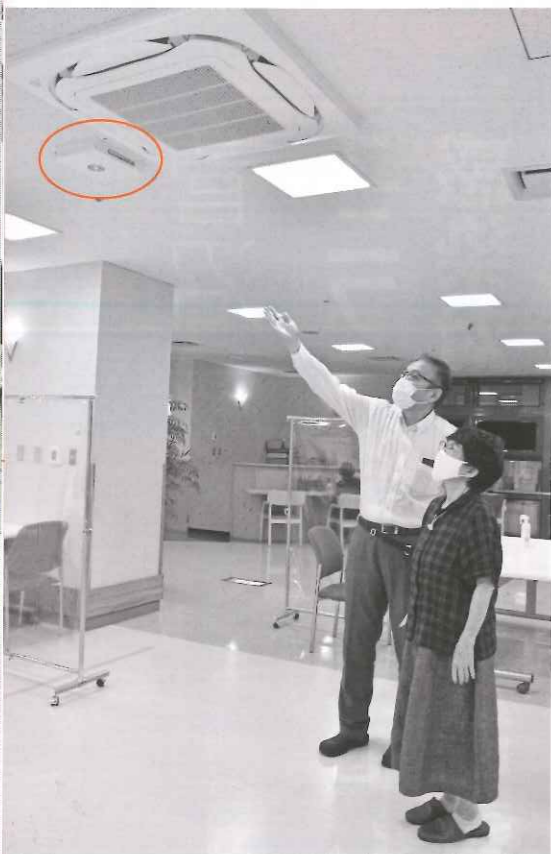
職員の日々の心がけで 感染防止対策の徹底を促す

ハード面の強化に加え、全職員には除菌・消臭のスプレーボトルと、それらを身につけるためのポシェットを貸与。施設内での手指消毒に使うだけでなく、外出時や自宅での手指消毒にも積極的に使うように促している。また、緊急事態宣言時は勤務体制を2分化し、交代制でのサービス提供を実施。公共交通を使うのを避けるため、自宅が近い職員同士で車の乗り合い通勤を奨励したという。これらの対応は、職員が感染防止対策を意識すべき場は、職場だけではなく、生活全体であるという法人としての考えがあるからだ。



除菌ユニットやオゾン発生器があるからこそ安心してご利用者同士はもちろんだが、家族の面会も受け入れることができる。

**社会福祉法人茶屋の園
特別養護老人ホーム
たちばなの園白糸台**
●東京都府中市白糸台6-2-17
TEL 042-3258-0221
FAX 042-3258-0221
E-MAIL info@chayanosono.jp
WWW www.chayanosono.jp
「ご利用者一人ひとりの人格を最大限に尊重し、家庭的な雰囲気のもとで生きがいのある生活を確保するとともに、できる限り自立した生活が送れるよう支援すること」を理念に、1999年に開設。特別養護老人ホーム、ショートステイ、居宅介護支援事業を提供している。



空調設備を点検する木所さん（右）と漆原さん。囲まれている部分がオゾン発生器

ここまで徹底した対策を行っている同法人だが、漆原さんは「感染防止対策には100%はなく、これらの対策をしても職員やご家族による感染を完全には防止できません。とにかくより良い環境を整備し、感染させない・広めないことが大切だと考えます」と話す。それを受けて木所さんは、「介護事業者は、常により良いサービスを提供していくことを考えなければなりません。感染防止対策も同様で、良いサービスとは、安心・安全な環境があつてこそ、提供できるもの。常に感染防止対策を考え続けることは、介護の質を高めることを考え続けることと同じです」と力強く語る。